

第 1 回越ヶ谷地区まちづくり会議の記録

会議名	第 1 回越ヶ谷地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 7 月 29 日 (月) 19 時～21 時
参加者数	12 人
事務局	<p>都市整備部：井出部長</p> <p>政策課：濱野副課長、角田主任、関根主事</p> <p>都市計画課：森野室長、関根主事</p> <p>市民活動支援課：竹内主事</p> <p>越ヶ谷地区センター・公民館：中村所長、佐川主幹、須賀主幹</p> <p>ランドブレイン：菅原氏、野沢氏</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 地区まちづくり会議について</p> <p>(2) 会長・副会長の選出について</p> <p>(3) 第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について</p> <p>(4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について</p> <p>(5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について</p> <p>(6) 越谷市及び地区の現状と土地利用の動向について</p> <p>(7) その他</p> <p>5 閉会</p>
質疑応答	<p>4 議題</p> <p>(1) 地区まちづくり会議について</p> <p>(2) 会長・副会長の選出について(会長・副会長が選出される)</p> <p>(3) 第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について</p> <p>(4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について</p> <p>(5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について</p> <p>(6) 越谷市及び地区の現状と土地利用の動向について</p> <p>(質疑なし)</p> <p>(7) その他</p> <p>質疑：今日説明を受けて、具体的に次回からどのようなことを発言して、どのようにまとめていくのか、道筋を教えてください。</p> <p>回答：各地区によって、進め方は様々である。今までの提言書を発展させていくのか、1 から作っていくのか、手法は複数ある。他の地区では提言書の見直しをする形が多いが、地区の状況によって違う。皆様のご意見を踏まえて調整させていただく。次回からはその道筋に基づいてワークショップを開催していく。</p>

(以下、委員より1人ずつ意見)

質疑：今の説明だけでは中々分からない面が多い。

質疑：日常、私どもは、土地を広く持っているので税金を支払うのが大変である。しかし、地域が良くなっているのは役所の方々の努力のおかげだと思っているため、税金は喜んですぐに払うようにしている。

質疑：ご説明はいただいたが、分からないことが多い。次回読んで理解したい。集まって話したとしてもすぐに理解できるものではない。持ち帰って勉強したい。

質疑：以前にも何回かこの会議に出たことがあるが、難しい。私たちが発言したことが実現しているかということそうではないと思う。理解はした。

質疑：大変難しい、大きな問題であることは分かった。資料2にあるような、ふれあいサロンや保健センターにおける事業は分かった。しかし、その他の観光や耐震化については、どういったスケールで測っているのか分からない。観光については、どのような人々を対象にしているのかが分からなかった。耐震事業については、どの橋梁が耐震化されたのか。公民館や市役所周辺の橋梁の耐震化も、どこまで進んでいて、どれくらい安全なのか。また越ヶ谷小学校だけ載っているが、他の中学校等はどうか。そのあたりは知りたいと思った。

質疑：会議に上がったものは理解できた。聞きたいのは、電線の地中化について。商工会議所で会議があり、電線の地中化が話に挙がったが、どこが担当かがわからず、検討もできなかった。今回の会議の資料の中にも電線の地中化の促進とあるが、どこに連絡したら良いのかがわからず、市の方とも検討できない。どこで対応してもらえるのかを聞きたい。

質疑：全体の流れは分かったが、細部についてはまだ分からない。勉強したい。

質疑：私の住んでいるところは区画整理が終わった。終わってから28年間、我々の地区の人口割合は、高齢化の最先端である。そのため、人づくりやコミュニティづくりを目的としたサロンを開催している。まちの街路樹については、イチョウがかなり成長し、歩道が盛り上がり、縁石が横になり、歩行者に支障をきたしている。老人も多い地区なのでつまづいて転ぶ懸念もある。街路樹の整備を含めた対策を早くしてほしい。間引きもいいが、樹木の入れ替えも必要である。

質疑：今回は計画の種類や計画同士の間関係の説明してもらったが、これからは、住民が感じる課題を細かい具体的な事例として出してもらえれば良いと思った。これから5年前の会議・計画の修正をしつつ、様々な課題を検討していくのだろうと理解している。

質疑：大枠は理解した。しかし、前回の都市マスにどのような項目があり、どこまで進んできたのか、課題があるのか、より具体的に教えていただかないと、判断ができない部分が多いと思った。大枠の話しかなかったため、今後の道筋が見えづかった。今回のまちづくり会議の提言書ということで、以前市長選に伴う公開討論会の企画運営をさせていただいた際の経験からすると、数字としては分かっていても、具体的にどこまでできているのかは、なかなか市民の目にも分からない。「着手しています」「〇%進んでいます」というだけでは分からない。具体的な内容が分からないと意見も言えない。過去の流れや課題、今後期待することを教えていただきたい。

質疑：提言書について、中々進んでいないように感じる。

回答：時間の制限があることから、今回皆様にお示しした情報は限られたものになっていることをご理解いただきたい。会議の進め方については、地区の皆様で決めていただくものとなる。最後は提言書としてまとめてほしい。基本的には、1 から課題を抽出するか、今までの提言書を踏まえた見直しか、どちらかの進め方になるのかと思う。

質疑：皆様には普段感じていることや、こうしたら良いのではないかと思うことを、まず発表していただく形が良いと思う。第2回には、そういった日常感じていることを発表していただく場を設けたい。細かい資料についても事務局に出していただきたいと思う。

質疑：自治会についてである。予算が3年間で3万円から増えて4万円いただいている。しかし、自治会に加入しない方が多い今の状況では、3万円を余計にもらっても、使いきれない。マンションは自治会と関係ないと言われてしまう。建築確認をとるとき、自治会に入ってもらおうようにする等をしないと、会員は年々減る一方である。マンションでも自治会を作っている。そうされると、まちづくりといってもどんどん知らない人が来て、話し合いもできない。市の方で何か手をうってもらわなければ、どうにもならない。是非考えてもらいたい。

回答：先ほどご質問のあった耐震化について。小学校・中学校の補強状況については、中央中学校は平成13年に、越ヶ谷小学校については平成23年に3校舎の耐震工事済みである。

質疑：越ヶ谷小学校のプレハブの耐震化は進んでいるか。

回答：プレハブについてはまだ把握できていないので、改めて報告する。無電柱化については、建設部の担当になるかと思う。道路の管理者との相談も必要になるので、改めて調査させていただく。

第2回越ヶ谷地区まちづくり会議の記録

会議名	第2回越ヶ谷地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年8月23日(金) 19時~21時
参加者数	10人
事務局	政策課：濱野副課長、関根主事 都市計画課：森野室長、関根主事 市民活動支援課：竹内主事 越ヶ谷地区センター・公民館：中村所長、佐川主幹、須賀主幹、立川主事 ランドブレイン：菅原氏、野沢氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 第1回会議質疑への回答 4 グループワーク (1) グループワークの概要について (2) グループワーク「地区の現状と将来のまちづくり」 ① 地区の強みと弱みについて ② 将来のまちづくりの目標について 5 その他 6 閉会

■ワークショップ「地区の現状と将来のまちづくりについて」

≪Aグループの意見≫越谷市の顔として魅力・活力のあるまちづくり

✓ 地区の強みと弱みについて

キーワード	強み	弱み
都市機能の 充実 (公共施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所があること ・公共施設が充実している 	
商店街の 魅力づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・商店街が陳腐化してきている ・商店街がないため、人の通りがない ・シャッター通り化してきている ・買い物をする魅力が乏しい ・商店街の1Fは店舗にするようなルールづくりが必要ではないか
観光の魅力		<ul style="list-style-type: none"> ・観光地化されていないため外部の人が来にくい、名物がない ・核となるような魅力不足 ・観光に対して市のサポートを ・道を一方通行にしても反対に衰退するのでは ・数年にわたって継続して周知させる ・イベントが多くの人に認知されていない、魅力あるもの、定期開催など定着していかない ・秋まつり、市民まつりと商店街の連携
駅前環境		<ul style="list-style-type: none"> ・駅ロータリー（西口）の使い勝手が悪い ・駅前再開発が生かしきれていない
分断		<ul style="list-style-type: none"> ・全体で行事をする際、川があるので駅周辺と東越谷で分断される

≪Bグループの意見≫越谷市の顔として魅力・活力のあるまちづくり

✓ 地区の強みと弱みについて

キーワード	強み	弱み
駅周辺の活性化	<ul style="list-style-type: none">・日比谷線が遅くまであるので便利・越谷駅がある。これを中心に活性化させる	
商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none">・旧商店街（本町）はかり屋を中心に蔵をイメージして若者が集まっている・旧道を時々歩行者天国としてフリマなどをやっている	<ul style="list-style-type: none">・もともとの商店街だがシャッター街になっている・シャッターが閉まっている所が多い
広場の充実	<ul style="list-style-type: none">・久伊豆神社の緑の広場は豊かでよいと思う	<ul style="list-style-type: none">・広場がない、市役所通りに公園がない・街中の駐車場がない

≪A グループの意見≫伝統ある歴史・文化を感じられるまちづくり

✓ 地区の強みと弱みについて

キーワード	強み	弱み
歴史的資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神社、寺、学校（小学校、中学校、高校）等がある ・ 松並木が素晴らしい 	
お祭りの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 越ヶ谷秋まつりの存在を生かす ・ 市民まつりの活用 ・ 花火大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 越ヶ谷秋まつりの再考（どういった形が良いのか答えがない） ・ 花火の数少ない ・ コミ協祭りの参加者が少ない ・ 参道のにぎわい不足 ・ 市民まつりの出店が少ない（規制の関係）
良好な景観 まちなみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街のまちなみ、古い建物 ・ 川があること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物のセットバックしている家としていない家がある ・ 景観、まち並みを阻害
公園		<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心と言われる町会に公園等（集まれる場所）が不足、あるいは無い
PR 活動		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源が周知されていない

≪B グループの意見≫伝統ある歴史・文化を感じられるまちづくり

✓ 地区の強みと弱みについて

キーワード	強み	弱み
お祭りの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋祭りがある。住民のコミュニティの連携につなげられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋祭りだんだん寂れていく ・ 雛めぐり、甲冑めぐりがある。もっと活発に。 ・ 祭りを担う若い主体が減少、祭りの主体を考え直す必要がある
歴史・文化資源のPR活動		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史資源をうまくPR ・ 久伊豆神社は越ヶ谷の誇り、市としてもっとアピールしてはどうか ・ 歴史のある越ヶ谷の秋祭りをもっとアピールできないだろうか
歴史的資源の創出・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御殿町の名前は残したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵屋敷など古い建物の活用 ・ 越谷らしさを形成するまち並み・景観の保全 ・ 歴史に関する石碑などがあると良い

≪Aグループの意見≫信頼と安心で子どもたちの代に繋ぐまちづくり

✓ 地区の強みと弱みについて

キーワード	強み	弱み
防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・女性防災クラブがある、約40名参加している ・地区で避難場所が決まっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯設置（商店街に）不足
空き家活用	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家活用が一過性
防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> ・警察のパトロールが増え、防犯の抑止力が上がっているのでは 	
コミュニティ活動		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会役員の高齢化 ・子ども会が少なくなっている、親の手伝い不足 ・自治会、子供会などの団体に参加減少、負担を感じ入る人が多い ・自治会から脱退する人も多い ・公民館の利用がしづらい（無料駐車場がない） ・多世代を巻き込むべきである
交流		<ul style="list-style-type: none"> ・マンションが多い為なかなか交流がない ・今作っているマンションはワンルームが多い
高齢化		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の一人暮らし増加
雨水		<ul style="list-style-type: none"> ・水はけが悪い、雨水対策
交通		<ul style="list-style-type: none"> ・交通信号の連携が悪いので渋滞が発生する
災害時の避難		<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所がわからない ・高齢者の避難場所（周知不足） ・災害の避難訓練なし ・公園がない

《B グループの意見》信頼と安心で子どもたちの代に繋ぐまちづくり

✓ 地区の強みと弱みについて

キーワード	強み	弱み
コミュニティ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・東越谷地区ではサークルやグループ活動が盛んである。夏のお祭り関係も ・近所付き合いは良い、井戸端会議が盛ん ・東越谷地区では、防犯・防災の取組は進んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・人集めが困難 ・自治会や子ども会に入る人が少なくなった ・イベントがあっても参加者が少ない
防犯対策		<ul style="list-style-type: none"> ・消灯が早い町中が暗い ・街灯が少ない ・商店が暗い ・東越谷地区では空き家が多い ・信号が少ない
高齢化		<ul style="list-style-type: none"> ・独身者が多く、老人が多い ・高齢者の集う所がない
集まる場所の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会館あるとよい ・越ヶ谷地区には独立した公民館がない ・独自の公民館
歩行環境		<ul style="list-style-type: none"> ・歩車道の間にある植込みはいらない ・1日道の交通量が多く危険(県道52号) ・町中の歩道がないため、危険 ・街路樹が多い、交通車輛の妨げである。見通しがきかない
災害情報の周知		<ul style="list-style-type: none"> ・1人暮らしの高齢者等に、災害情報が行き届かない
避難場所の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・御殿町の公園を防災公園にしてはどうか ・避難所、避難場所、一時避難等の区別が分からない ・町内は公園、広場が少なく、防災上の問題がある ・町内は防災倉庫の場所が確保できず、安全、安心の面で心配

≪A グループの意見≫まちなかの豊かな自然環境を保全・活用したまちづくり

✓ 地区の強みと弱みについて

キーワード	強み	弱み
街路樹	・いちょうの木（幹線道路）	・街路樹の落葉対策 ・街路樹の植上り対策
ゴミ対策・カラス		・ゴミの回収整備が必要、回収時間などの検討が必要 ・カラス対策 ・ゴミ出しのマナーが悪い ・参道のカラスのフン
緑		・まちなかに緑が少ない
公園の機能		・遊具などが撤去され、充実していない ・公園でのボールを使った遊びができる場所が限られている
河川環境	・土手の整備がよくなった、ランナー、ウォーキングの人が増えた ・川にカモやサギがたまに見られる ・川に水草が増加中	・川の水を動かさないと水が悪くなる

≪B グループの意見≫まちなかの豊かな自然環境を保全・活用したまちづくり

✓ 地区の強みと弱みについて

キーワード	強み	弱み
元荒川の水辺景観、環境	・遊歩道が整備されている ・元荒川の水辺がある川のまちを PR できないか	
公園の機能		・子供公園の拡張、遊具を増やすべきである

第3回越ヶ谷地区まちづくり会議の記録

会議名	第3回越ヶ谷地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年9月6日(金) 19時~21時
参加者数	14人
事務局	政策課：濱野副課長、関根主事 都市計画課：森野室長、関根主事 市民活動支援課：吉武主事 越ヶ谷地区センター・公民館：中村所長 ランドブレイン：菅原氏、野沢氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 グループワーク「将来のまちづくりの目標実現に向けた取組」 ① 「自分たちでできる取組」と「支援が必要な取組」の抽出 ② 「すぐにできる取組」と「時間がかかる取組」の整理 4 その他 5 閉会
質疑応答	(質疑なし)

■ワークショップ「将来のまちづくりの目標実現に向けた取組」

◀Aグループの意見▶

にぎわい・魅力

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事の範囲を商店街まで広げ、地域全体を巻き込む ・地域行事の対象エリアの拡大 	
観光の魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・久伊豆神社を活用したイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・まつりの開催にあたっての関係機関との調整を簡易化
都市機能(公共施設)の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・駅西口のにぎわいづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の会議室の貸し出し ・駐輪場・駐車場の確保
駅前の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ツインシティへの店舗誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備（北口から）

コミュニティ・安全安心

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
コミュニティ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会から脱退させないような仕組みづくり ・新规定住者（マンション）の自治会加入 ・マンションの管理組合との連携 ・自治会を継続していくための活動の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・市による自治会加入に向けたサポート
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者用のサロンを開催、継続的に実施するための方策 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者とダイレクトにつながるシステムづくり
防犯・防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会単位で防災活動 ・街路灯の設置・管理 ・防犯カメラの設置 ・住民目線で危険個所のチェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の消火活動（初期消火）を積極的にできるようにする ・自主防災活動がやりやすい体制・ルールづくり ・防犯カメラなど対策に向けた補助金等の支援 ・街路灯の設置・管理
歩行環境	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の街路樹の適切な管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の街路樹の適切な管理

自然環境

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地内緑地の適正管理のルール・指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地内緑地の適正管理のルール・指導 ・用水の流動化（日常的に）
街路樹		<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹を葉が落ちない樹種にする ・街路樹の管理（交差点付近の高木が邪魔）
自然景観	<ul style="list-style-type: none"> ・あじさい通りをつくる（東越谷5丁目） ・花いっぱい散策路コースをつくる ・季節ごとの花を植える 	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい活動を進めるための支援 ・中土手を常に花いっぱいにする

＜Bグループの意見＞

にぎわい・魅力

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみのないまち」にむけて、ごみ拾い活動やごみを散らかさないルールづくり ・越谷といえば●●を「ごみのないまち」 ・若者が集まりやすいイベントの開催 	
観光の魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・シンガポールのような「ごみのないまち」にむけて、ごみ拾い活動やごみを散らかさないルールづくり ・越谷といえば●●を「ごみのないまち」 ・地区全体を巻き込んだまつり、イベントの開催 ・歩いて回れる仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源を歩いて回れる仕組みづくり ・多世代が集まれる広場づくり
駅前の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が集まりやすいイベントの開催 	

歴史・文化

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
歴史資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内のボランティア 	
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾い活動、ごみを散らかさないルールづくり 	
まつりの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地区を巻き込んだおまつりの活性化 ・地区全体の実行委員会の立ち上げ ・継続的な祭りの実施（毎年度実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの資源の文化財指定

コミュニティ・安全安心

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
コミュニティ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代を巻き込んだ組織の構築 ・多様な世代の意見を踏まえた環境づくり ・自治会へのバックアップ、意識改革 	
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化
防犯・防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・消防体制の充実 ・住民との協働の防災マップづくり ・夜間パトロールの強化 	
交流		<ul style="list-style-type: none"> ・多世代が集まれる広場

自然環境

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
自然	・負担のない範囲内での緑化活動	
街路樹		・歩道の植え込みの撤去
元荒川の 河川環境	・河川敷の清掃	
公園の機能	・多様な世代の意見を踏まえた環境づくり	・多様な世代の意見を踏まえた環境づくり

第4回越ヶ谷地区まちづくり会議の記録

会議名	第4回越ヶ谷地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年10月18日(金) 19時～20時15分
参加者数	12人
事務局	都市整備部：井出部長 政策課：濱野副課長、関根主事 都市計画課：森野室長 市民活動支援課：吉武主事 越ヶ谷地区センター・公民館：中村所長、佐川主幹、須賀主幹 ランドブレイン：菅原氏、野沢氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 提言書(案)について(説明、質疑応答・意見交換) (2) 将来像の見直しについて 4 その他 5 閉会
質疑応答	(1) 提言書(案)について(説明、質疑応答・意見交換) ■目標1に関する意見 委員：「取組1-1」について。「活気ある商店街をつくる」とあるが、商店が根本的に減っている現状がある。人が集まらなければ商店は活性化しない。観光地化、人が呼べるようなものが必要ではないか。 会長：取り組み方として、人が集まる観光的な要素も文章の中に表現した方が良いというご意見であった。そういった表現を入れるということによろしいか。 委員：異議なし。 ■目標2に関する意見 委員：「取組2-1」の秋まつりについて。これは越ヶ谷地区全体の名物として栄えていくような方向性なのか。 会長：秋祭りは今まで長い伝統がある。全町内が参加できるということは、歴史と伝統があるので難しいのではないか。50～60年前は学校も休みとなるほどの行事だった。8町内が主であり、他のところは参加させていただくという雰囲気であった。現在は、時代が変わって、8町内だけで子どもを集めることは不可能である。しかし、他の19町内も一緒に、となると運営が難しいと考える。越谷市民まつりのような体制ではなく、秋まつりは8町内を尊重した方が良いと考える。 委員：今回は8町内が他の町から人を呼び、赤山町から1人3,000円の参加費をいただいた。その中に保険料なども含めている。開催後の自治会の会長の会議の中で神社36社を巻き込み、人を増やす方法がないかと説明し、了承を得た。後日、市

の委員会が来て、写真を撮り、13日のお祭りでは市の教育委員会が各町内を巡って意見を聞いている為、先々は増えるのではないかと思う。今回は本町2丁目の人も入り、実行委員会を作ったが参加費や資金を出すことはなかった。それでは、お祭りの開催はできない。9月決済をしたが350万円かかる。神社で全町内の人を呼んでお祭りの準備をした。お金と保険の問題があるだけで、子ども大人も喜んでいた。

会長：子どもが参加することについては、拒否しない。しかし1町内300万円ずつかかる。300万円を出さずに子供だけ任すということは中々難しい。一番良いのは越谷市が負担してくれることだが、財政の問題があるので、良い知恵があればまた記載する方向にしたい。

■目標3に関する意見

会長：意見をいただいている。「取組3-1」の本文及び「②コミュニティ組織間の連携」について、地域でできることとして、「マンション管理組合やPTAなどの他のコミュニティ組織と自治会の連携」とある。趣旨は良いが、PTAと理事会の連携というのは、学校区内でかみ合わない組織を示している為、流れとして違和感があるので他の文言とするかPTAの文言を削除すべきという意見であった。

「マンション管理組合やPTAなど他のコミュニティ組織間の連携」とあるが、これを削除するか、あるいは残しておいて将来的に連携を図っていくようにするか、どうすべきか。

委員：越谷市のPTAは45校である。私は45校のまとめ役を3年続けているが、越ヶ谷はPTAの加入2万3,735で始まった。PTA加入率は非常に高い。PTAは学習指導要領の変更で組織の位置づけが変わり、PT「C」A、新たにコミュニティを入れている。PTAをコミュニティから抜くのは時代の逆行である。小学校、中学校単位は防災でも非常に重要。中学生はサポートされる側ではなく、年配者を守る側として活動の場はいくらでもある。コミュニティに是非加えてほしい。

会長：色々問題はあるが、PTA組織とも連携を図っていくべきという意見であり、削除する必要はないというご意見であった。このままとしたい。

■目標4に関する意見

会長：こちらも意見をいただいている。「目標4-1 ②災害に強いまちづくり」に、「越ヶ谷地区独自の公民館を作る」ことを入れてほしいとの要望があった。以前独自の公民館を、と市長に要望をした。今新庁舎も作っている中では、財政的な観点からも難しいと思うが、連合自治会としては是非作ってほしい。表現を変えて入れるということで良いか。

委員：今回の台風19号で中央公民館は避難指定されなかった。ここは、指定されると便利な場所である。避難指定について考えてほしい。指定しないのは勤務時間の問題とも聞いた。

会長：結論を言うと予算がないということである。今新庁舎を建設している中で、独立した公民館を作るのは少し難しいと思う。表現を考えて、提言書へ入れることを

	<p>検討してほしい。</p> <p>■目標5に関する意見 特になし。</p> <p>(2) 将来像の見直しについて 会長：将来像は見直すべきか。資料3には地区別の将来像を示している。越ヶ谷地区の将来像「活力ある中心市街地の形成と自然、歴史・文化の継承による魅力あるまちづくり」はこのままでよろしいか。 意見：特に意見なし。 会長：現行の将来像を今回も踏襲することとする。 委員：今回の会議の協議を経て、再度修正することだが、提言書の完成したものは配布するのか。 事務局：いただいた意見を踏まえ、修正したものを完成次第改めて郵送か何かしらの形で配布させていただく。</p>
その他	<p>委員：越ヶ谷地区の公共施設が、駅の東口ばかりである。赤山町の方にも何かしらの公共施設を建設していただきたい。 事務局：検討させていただく。</p>